

## 「森山小学校のてべし（手拍子）伝承活動の取組」

### 1 学校名

志布志市立森山小学校

### 2 学年・人数

小学校1年生から6年生（計14人）

### 3 日時・場所

#### （1）練習の日時・場所

9月（森山小学校体育館）、9月（運動会前の体育学習）

#### （2）発表の日時・場所

9月28日（森山小学校・校区秋季大運動会）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### （1）名称

手拍子（てべし）

#### （2）由来・特徴

ごしゅあげの時や祝賀会の際に踊られた。「手拍子」は「奴踊り」（やっこ）とも言い、手に何も持たないで踊るので「手拍子」という。その昔、谷山の人が道重に伝えたのが始まりとされている。

装束は、浴衣に一丈二尺の襷をかけ、裏青の手甲，黒足袋，足長草履，白鉢巻きをする。襷はのちに花柄帯になった。

### 5 保存会や地域との連携の具体

父親の保護者を中心に、昔から伝わるてべしを子どもたちに教える。父親たちも子どもの頃、地域の先輩方から教わっている。代々伝わる伝統芸能を絶やさないようにと、秋の運動会で披露するようにしている。事前の練習には、地域の方を呼んで、踊り方を確認しながら子どもたちに指導している。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が連携協力しながらてべしを継承していくために、今後も運動会を中心に踊りを披露していく。保護者を通じて、地域の指導者が数名子どもたちの指導にあたってくださるので、今後つながりを持ち、連携を強化していきたい。

## 7 取組の様子（練習時・運動会当日）



夜，体育館に集まり踊りの練習



運動会当日は装束を身に付けて踊る

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

子どもたちは、運動会当日に衣装を着せてもらうのが楽しみのようなようであった。衣装を身につけると、俄然張り切り、勇ましく誇らしげに踊っていた。

### 6年男子の感想

「運動会に向けて、夜体育館で練習をしました。1年ぶりの練習だったけど覚えていたのでうれしかったです。6年間踊ったてべしで、地域の方とも交流ができました。伝統を続けてほしいです。」

昔から伝わる地域の伝統芸能に触れる機会があることは、子どもたちにとって有意義なことである。踊りの練習や運動会での披露を通じて、てべしの由来等を知り、今後も大切に守り、継承していく意欲をもてることであろう。